

令和 7 年度 10 月期・令和 8 年度 4 月期
京都大学大学院地球環境学舎
博士後期課程学生募集要項
(夏期選抜)

大学院地球環境学舎 理念と入学受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

学舎全体に関わる事項

地球環境の保全や持続的発展のためには、広域にわたって整合性のある複合施策の発案・実施ができる実務者が必須であり、同時に、それを支援し、かつ、あらたな生活文化をも創出するような統合的学術研究分野の構築とその人材が緊急に求められている。大学院地球環境学舎では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者や、地球環境問題の複雑性と広がりを経験する基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりを持った新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本大学院では、高い倫理性と豊かな人間性を持った以下のような人材を広く求めている。

- ・ 地球環境問題に強い関心を持ち、その調査・分析、解決のための施策立案・技術開発に積極的に関わる意欲を持つ人
- ・ 環境マネジメントに対する強い意欲を持ち、将来、地球レベルあるいは地域レベルの環境問題に対するマネジメント活動を志す人

入学後は、講義、セミナー、研修、研究、等を通して、上述の高度な実務者や研究者となる人材育成を行う。

地球環境学専攻に関わる事項

地球環境学専攻には、博士課程の後期 3 年の課程（博士後期課程）が設置されている。地球環境問題の複雑性と広がりを経験する基礎科学の上に立って展望し、学問としての先見性、深さと広がりを持った新しい「地球環境学」を開拓しうる高度な研究者の養成を目指すとともに、そのような学問的素養を備えた実務者の養成も目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本専攻では、環境マネジメント専攻修士課程修了者はもとより、既存学問体系の中から、それまでの専攻分野の基礎原理・内容を確実に習得しており、地球環境問題に強い関心を持つ既存研究科博士前期（修士）課程修了者、ならびに、実践と経験を重視するという趣旨から、高度な地球環境学研究に取り組んでいる社会人や留学生を積極的に受け入れる。

環境マネジメント専攻に関わる事項

環境マネジメント専攻には、博士課程の前期 2 年の課程（修士課程）と、博士課程の後期 3 年の課程（博士後期課程）が設置されている。

本専攻では、地球環境を持続可能な形態で改善・維持・管理する能力を有し、地球レベルから地域レベルにわたる具体的問題を解決しうる高度な実務者の養成を目指すとともに、そのような実務感覚を備えた研究者の養成も目指している。また、地球環境学の性格上、国際的対応能力を持った人材の養成を重視している。

本専攻では、地球環境に関する諸問題についての基礎学力や国際的対応の基礎となる語学（コミュニケーション）能力をもつと同時に、環境マネジメントに対する資質と強い意欲を持った人を求めている。また、実務者養成という趣旨から、すでに環境マネジメント活動に取り組んでいる社会人、留学生および実務経験者を積極的に受け入れる。

入学選抜の基本方針

修士課程では、外国語の評価と、地球環境学・専門分野・研究計画書等に基づく口頭試験とを組み合わせた多様な入学試験を実施する。

博士後期課程では、外国語の評価と、研究計画書等に基づく口頭試験とを組み合わせた多様な入学試験を実施する。

本大学院の博士後期課程は、大学院設置基準第 4 条第 5 項にいう博士課程の後期 3 年の課程である。

選抜は、書類の審査と学力検査による**一般選抜試験**と、博士学位論文草稿及び研究業績の審査による**論文草稿選抜試験**のいずれかを選択できる。なお論文草稿選抜試験受験希望者の博士学位論文草稿は、研究がある程度完成しており1年程度で学位論文提出が可能なものとする。

I. 募集人員

地球環境学専攻 13名

環境マネジメント専攻 7名

- ◎ 上記2専攻は併願が可能である。
- ◎ 上記募集人員は一般選抜と論文草稿選抜の合計である。
- ◎ 社会人特別選抜は、若干名募集（上記募集人員に含まれる）。
- ◎ 上記募集人員には、原則奨学金を獲得している優秀な外国人留学生（注）を対象とした国際環境マネジメント（IEMP）プログラム特別選抜等が含まれる。

注：外国人留学生とは原則日本国籍を有しない者のことである。

II. 出願資格と出願資格の審査

i 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者又は令和7年10月入学にあたっては令和7年9月末まで、令和8年4月入学にあたっては令和8年3月末までに該当する見込みの者

- (1) 修士の学位又は修士（専門職）若しくは法務博士（専門職）の学位を有する者
- (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。）の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程（本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。）を修了した者
- (5) 国際連合大学（国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項の規定によるものをいう。次号において同じ。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であって、本学において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
 - ① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
 - ② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者
- (8) 本大学院において、個別の入学資格審査により、第1号に掲げる者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者（6年制課程の大学を卒業した者を含む。）

※論文草稿選抜には出願資格(6)、(7)、(8)では出願できない。

ii 出願資格の審査

出願資格 (6)、(7)、(8)（一般選抜のみ）により出願を志望する者には、次の期間内にインターネット出願にて申請すること。

インターネット出願：https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/general_summer2025doctor_eligibility

申請期間：令和7年5月30日（金）～6月6日（金）15時

(1) 出願資格審査提出書類

出願前に下記の書類全て、データ（指定等ない限り PDF）で用意しておくこと。

① 写真	(全員) 上半身脱帽正面向きで、出願前 6 か月以内に単身で撮影したもの (縦横比 6:5、データ形式：JPEG)
② 成績証明書	(全員) 最終出身学校が発行したもの。証明書は日本語又は英語で記載されたものに限る。
③ 業績調書	(出願資格 (7) 該当者) 所定の様式（専攻分野に関連する研究業績等について、客観的知見等を簡明に記載のこと。）
④ 研究従事内容証明書	(出願資格 (7) 該当者) 所属機関等が作成したもの。
⑤ 資格免許証書等	(出願資格 (7) 該当者) 専攻分野に関連する各種資格免許証等参考になると思われる書類
⑥ その他	(出願資格 (6) 該当者) 1) 博士論文研究基礎力審査に相当する審査の方法及び合格基準を示す資料 2) 出願者が履修した博士前期課程に相当する課程（科目一覧、科目概要）及び成績 3) 出願者が履修した全ての中等・高等教育課程の概要
⑦ パスポートの写し	(外国人留学生のみ) 顔写真のあるページ

※上記のほか、修士の学位を有する者と同等以上の能力を示す業績、資格、社会における活動実績等を証明する書類などがあれば、提出することができる。

(2) 審査方法及び日程

- 1) 出願資格の審査申請をした者に、書類審査を行う。
- 2) 出願資格審査の結果発表は、令和 7 年 6 月 20 日（金）10 時にインターネット出願サイトの「合格発表」ページにて行う。

iii 社会人特別選抜について

前記 II-i の出願資格を満たし、出願時において、官公庁、会社等に在職し、入学後も引き続きその身分を有する者を対象に特別選抜を行う。なお、地球環境学専攻と環境マネジメント専攻の 2 専攻、ならびに一般選抜、論文草稿選抜のいずれも選択することができる。（ただし、前記 II-i の通り、論文草稿選抜には出願資格 (6)、(7)、(8) では出願できない。）

III. 出願手続

出願者は、出願書類を完備して、次の期間内にインターネット出願にて申請すること。

願書受理期間：令和 7 年 7 月 8 日(火)～7 月 15 日(火)15 時

インターネット出願：https://kjs.gakusei.kyoto-u.ac.jp/general_summer2025doctor

なお、出願にあたっては、次のことについて注意すること。

- 次の「分野名・教員名一覧」の中から、志望する指導教員を選択し、出願に先立ち事前にコンタクトをとること（外国の大学（院）を卒業/修了（見込）の者は、受入志望教員とコンタクトをとる前に必ずアドミッション支援オフィス（Admissions Assistance Office/AAO）で手続きを行うこと。AAO: <https://u.kyoto-u.jp/fg3ll>）。
- 志望する指導教員と相談し、地球環境学専攻と環境マネジメント専攻の 2 専攻から、第 1 志望専攻及び第 2 志望専攻を選択すること。ただし、第 2 志望専攻の選択は志望する者のみでよい。

[分野名・教員名一覧]

地球益学廊			
地球環境政策論分野	教授	宇佐美 誠	
環境経済論分野	教授	竹内憲司	
地球益経済論分野			准教授 森 晶寿
持続的農村開発論分野	教授	武山絵美	准教授 鬼塚健一郎
水環境保全論分野	教授	藤原 拓	准教授 日高 平
比較社会制度論分野	教授	見平 典	
環境マーケティング論分野			准教授 吉野 章
美術史・文化論分野	教授	高階絵里加	
環境教育論分野			准教授 講師 Trencher, Gregory Baars, Roger Cloud
地球親和技術学廊			
環境調和型産業論分野	教授	越後信哉	准教授 田中周平
社会基盤親和技術論分野	教授	勝見 武	准教授 高井敦史
人間環境設計論分野	教授	小林広英	准教授 落合知帆
生物多様性保全論分野	教授	市岡孝朗	
	教授	西川完途	
景観生態保全論分野	教授	今西純一	准教授 深町加津枝
元素材料化学論分野*	教授	田中一生	
資源循環学廊			
地域資源計画論分野	教授	西前 出	准教授 浅野悟史
都市基盤デザイン論分野	教授	川崎雅史	准教授 山口敬太
親環境フォトセラミック材料化学論分野	教授	田部勢津久	
生産環境微生物学論分野	教授	田中千尋	准教授 吉見 啓
陸域生態系管理論分野	教授	舟川晋也	准教授 真常仁志
生態系連環論分野	教授	徳地直子	
	教授	舘野隆之輔	
*令和7年10月入学のみ募集			

[出願書類]

出願前に下記の書類全て、データ（指定等ない限り PDF）で用意しておくこと。

日本語／英語以外の書類は公的機関の翻訳を原語の書類に添付すること。

※書類①から⑤については共通の出願書類。他は選抜方法により出願書類が異なるので注意すること。

共通

① 写真	上半身脱帽正面向き（無背景）で、出願前 6 か月以内に単身で撮影したもの（縦横比 6:5、データ形式：JPEG）。
② 成績証明書	出身大学大学院が発行したもの。なお、出身大学が海外大学の場合は、出身大学が作成した成績証明書も併せて提出すること。証明書は日本語又は英語で記載されたものに限る。 ※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。提出書類は返却しないため、入学手続き時に原本の提出ができない書類はアップロード

	しないこと。
③ 修了（見込）証明書	出身大学大学院が発行したもの（ただし、6 年制課程卒業者等は出身大学学部が発行した卒業（見込）証明書）。なお、出身大学院が海外大学の場合は、出身大学が作成した卒業証明書も併せて提出すること。証明書は日本語又は英語で記載されたものに限る。 ※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。提出書類は返却しないため、入学手続き時に原本の提出ができない書類はアップロードしないこと。
④ 入学検定料収納証明書	入学検定料：30,000 円 振込期間：令和 7 年 7 月 4 日（金）～7 月 15 日（火） 京都大学 EX 決済 (https://www3.univ-jp.com/kyoto-u/ges/) により入学検定料を納入し、収入証明書をダウンロードすること。 ※氏名は願書どおり入力すること。 ※支払方法は、次のいずれかから選択可。 入学検定料の他に支払い手数料（650 円）が必要。 ・コンビニエンスストア ・クレジットカード ・金融機関 ATM ・ネットバンキング ※国費留学生として入学した場合は、入学検定料を返還する。検定料支払い時の手数料は返還されない。また、検定料返還時にかかる振込み手数料は受験者の負担となる。 【入学期の前月に京都大学大学院修士課程または専門職学位課程を修了見込の者、または学舎学生（内定者含む）の JICA 長期研修員は不要】
⑤ TOEFL 等の英語スコア	後記 IV-i に記載する TOEFL 等の英語スコア ※原本は、合格後の入学手続き時に提出すること。
⑥ パスポートの写し	（外国人留学生のみ） 顔写真のあるページ

一般選抜の出願者が提出する書類

⑦ 修士論文又は実務実績調書及び課題小論文	地球環境学専攻を志望する出願者（環境マネジメント専攻と地球環境学専攻の両方を志望する者を含む）は 1) を提出すること。環境マネジメント専攻のみを志望する出願者は、1) 又は 2) のいずれかを提出すること。 1) 修士論文 修士論文が英語又は日本語以外の言語で書かれている場合には、英語あるいは日本語で書かれた要約を A4 用紙に 10 頁以内にまとめて提出する。現在修士課程に在籍中で、修士論文を提出することができない学生は、英語あるいは日本語で書かれた修士論文研究進捗状況等を A4 用紙に 10 頁以内にまとめて提出する。 2) 実務実績調書及び課題小論文 環境マネジメントに関する実務実績を日本語あるいは英語で A4 用紙に 5 頁程度にまとめたもの（実務実績調書）と、指導志望教員が事前に出題した課題に対し、英語で A4 用紙に 5 頁程度に回答したもの（課題小論文）を提出する。
-----------------------	---

⑧ 研究計画調書	日本語あるいは英語で書かれた博士後期課程入学・進学後の研究計画を A4 用紙 2～3 頁程度で提出すること。 なお、研究計画の内容については事前に指導志望教員と相談のうえ決定し、表紙（所定様式）を研究計画調書に付けること。 ※所定様式は、本大学院の WEB サイト (https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/admissions/schedule-and-guide/) から取得すること。
----------	---

論文草稿選抜の出願者が提出する書類

⑨ 博士学位論文草稿	英語又は日本語で書かれた論文草稿（様式随意）
⑩ 研究歴書 実務実績調書	地球環境学専攻のみを志望し環境マネジメント専攻を志望しない出願者は、次の 1)、2) のうち、1) のみを提出する。環境マネジメント専攻を志望する出願者（地球環境学専攻と環境マネジメント専攻の両方を志望する者を含む）は、次の 1)、2) の両方を提出する。 1) 研究歴書 これまでにを行った論文草稿に関連する研究歴と関連する研究業績を記載したもの（A4 用紙・様式随意）。氏名、研究題目、指導志望教員名を記載し、指導志望教員の確認印を押印した表紙をつけること。（A4 用紙・様式随意） 2) 実務実績調書 論文草稿に関連するこれまでにを行った環境マネジメントに関する実績を、日本語あるいは英語で A4 用紙に 2～3 頁程度でまとめたもの（様式随意）。

◎社会人特別選抜に出願する者は、上記の書類のほかに下記の書類を提出すること。

⑪ 在職確認書類	在職していることを確認できる文書。たとえば、出願者の氏名と所属機関が記載された在職証明書、職員証（この場合データ形式は JPEG 等でも可）、もしくは所属の長又は指導的立場にある者が作成した推薦書（様式随意）。
----------	---

[検定料に関する注意事項]

- 一旦納入された入学検定料は、理由の如何に関わらず返還しない。
- 京都大学総長が指定する災害による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災し罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがある（参照：京都大学ホームページ「入学検定料の免除について」
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/fees-exemption>）。該当者は、令和 7 年 6 月 10 日（火）17 時までに、地球環境学堂教務掛（8 頁）へ問い合わせること。

IV. 入学者選抜方法

入学者の選抜は、出願書類の内容、英語能力（提出された「TOEFL 等の英語スコア」で採点）、学力検査（口頭試問）の成績を総合して行う。社会人特別選抜での出願者についても同様に行う。
なお、論文草稿選抜は、上記に博士学位論文草稿の審査を加え、総合して行う。

i TOEFL 等の英語スコア

全ての受験者は、「TOEFL 等の英語スコア」を提出すること。提出しない場合、英語能力の点数は 0 点とする。

なお、提出するスコアは、TOEFL-iBT（TOEFL iBT Home Edition を含む）の受験者成績表（Test Taker Score Report）（注 1）を原則とするが、以下のいずれかを提出してもよい。

- TOEIC Listening & Reading (Secure/Public testing program)の公開テストスコアの公式認定証（Official Score Certificate (Reports)）（注 2）
- IELTS スコア公式成績証明書（Test Report Form）（注 3）

ただし、いずれであっても令和 4 年 4 月 1 日以降に受験した試験のスコアとする。また、2 種類以上のスコアを提出することはできない。

なお、各英語スコアの TOEFL-iBT スコアへの換算は以下のとおりとする。

- ・ TOEIC スコア：9 頁の「換算表」に基づく。
- ・ IELTS スコア：ETS による換算表「TOEFL iBT® and IELTS® Academic Module Scores Comparison Tables」に基づく。

注 1：TOEFL-CBT、TOEFL-ITP スコア及び TOEIC 団体特別受験制度による IP スコアは認めない。TOEFL-iBT の受験者成績表 (Examinee Score Record) は、ETS から大学に直送される公式成績報告書 (Official Score Report) では代替できない。

注 2：TOEIC 公開テストスコアには、TOEIC Bridge を含まない。また、必ず公式認定証 (Official Score Certificate) を取得し提出すること。

注 3：IELTS はアカデミック・モジュールに限る。

ii 博士学位論文草稿の審査（論文草稿選抜のみ）

論文草稿選抜の出願者に対し、審査委員長（指導志望教員）及び他の 2 名の審査委員が、選考試験実施日までに提出された博士学位論文草稿の審査を行う。採点・評価項目は、草稿内容と各専攻のアドミッションポリシーとの適合性、研究能力、研究の進捗状況とする。

iii 学力検査

日 時	科 目	試 験 場
令和 7 年 8 月 26 日（火）～8 月 28 日（木） 各日 9 時～18 時 ※上記から日時を指定する。 1 人あたり 50 分の予定	口頭試問 一般選抜：修士研究を含む既修得分野又は実務経験に関する専門知識・研究計画についてのプレゼンテーション及び研究計画とその関連知識に関する試問 論文草稿選抜：博士学位論文草稿と今後の研究計画のプレゼンテーション及び研究能力、研究経過・計画と実務業績に関する試問	京都大学吉田 キャンパス 総合研究 5 号館 ※ただし、海外から受験する者については、オンラインで実施する。

- (1) 口頭試問での採点・評価項目は以下のとおり。
一 般 選 抜：研究能力、研究計画の妥当性、表現能力、出願書類の内容
論文草稿選抜：研究能力、研究の進捗状況、研究計画の妥当性、表現能力、出願書類の内容
- (2) 合否判定基準は、以下のとおり。
一般選抜：英語能力（満点 100 点）、博士学位研究計画の審査（出願書類の内容を含む）及び口頭試問（満点 400 点）の総得点（満点 500 点）により指導志望教員ごとに合否判定を行う。なお、博士学位研究計画の審査及び口頭試問の合計得点 240 点未満の者又は総得点 300 点未満の者は合格対象としない。
論文草稿選抜：英語能力（満点 100 点）、博士学位論文草稿の審査（出願書類の内容を含む）及び口頭試問（満点 400 点）の総得点（満点 500 点）により指導志望教員ごとに合否判定を行う。なお、博士学位論文草稿の審査及び口頭試問の合計得点 240 点未満の者又は総得点 300 点未満の者は合格対象としない。
- (3) 口頭試問における使用言語を「日本語」若しくは「英語」から選択すること。出願後の変更は認めない。
- (4) 口頭試問におけるプレゼンテーションは、Microsoft PowerPoint 等で作成したスライドファイルにて、約 20 分の発表を予定している。なお、ファイル提出については 8 月上旬に通知する受験案内にて指示する。
- (5) 海外から受験する者については、オンラインで口頭試問を行う。事前に受験に適切な環境（静寂な個室）の確保や試問に使用する機器類（カメラ、スピーカーマイク、ヘッドセット）

ト含む)や通信環境で、安定的に面接を実施できるか確認しておくこと。詳しくは、別紙「オンライン口頭試問を受験する際の留意事項」を参照すること。

- (6) 口頭試問の日時、受験案内等は令和7年8月5日にメールにて通知する。なお、受験票は8月5日以降にインターネット出願システムからダウンロードし、印刷しておくこと。
- (7) 自然災害や公共交通機関の運行状況等により、口頭試問について代替措置(オンライン実施や別日時での実施等)をとる場合がある。その場合の詳細は別途メールにて通知する。
- (8) 障がい等があって受験上の配慮を必要とする者は、なるべく早く申し出ること。

V. 合格者発表

令和7年9月1日(月)10時にインターネット出願システムの「合格発表」で通知する(電話等による問い合わせには応じない)。

VI. 入学料及び授業料と入学手続

i 入学料及び授業料

入学料 282,000円 [※入学時に改定されることがある。]

【入学期の前月に京都大学大学院修士課程または専門職学位課程を修了見込の者、国費留学生、または本学と一括契約をしている JICA 長期研修員プログラム生は不要】

授業料 年額 535,800円 [※入学時、在学時に改定されることがある。]

【国費留学生または本学と一括契約している JICA 長期研修員プログラム生として在学中は不要】

ii 入学手続

詳細については、令和7年10月入学にあたっては令和7年9月上旬に、令和8年4月入学にあたっては令和8年2月下旬に合格者あてに通知する。

VII. 個人情報の取り扱いについて

- (1) 個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱う。
- (2) 入学者選抜を通じて取得した氏名、住所その他の個人情報については、① 入学者選抜(出願処理、選抜実施)関係、② 合格発表関係、③ 入学手続関係についての業務を行うために利用する。
- (3) 入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者のみ① 教務関係(学籍、就学指導等)、② 学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等)、③ 授業料徴収関係についての業務を行うために利用する。

【問合せ先】

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

京都大学大学院地球環境学堂教務掛 (TEL 075-753-9167)

※問合せ時間：平日の9時～12時、13時～17時

E-mail: 160tikyukankyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

【京都大学大学院地球環境学堂ホームページ】

<https://www.ges.kyoto-u.ac.jp/>

TOEFL-iBT・TOEIC スコア換算表

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
65 - 83	14
84 - 100	15
101 - 119	17
120 - 138	18
139 - 153	19
154 - 163	20
164 - 183	21
184 - 205	23
206 - 226	24
227 - 239	25
240 - 250	26
251 - 264	27
265 - 278	29
279 - 291	30
292 - 301	31
302 - 318	32
319 - 335	33
336 - 349	35
350 - 357	36
358 - 368	37
369 - 385	38
386 - 395	39
396 - 408	41
409 - 418	42
419 - 431	43
432 - 442	44
443 - 454	45
455 - 466	47
467 - 474	48
475 - 482	49
483 - 491	50
492 - 507	51
508 - 522	53
523 - 529	54
530 - 536	55
537 - 553	56

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
554 - 567	57
568 - 576	59
577 - 583	60
584 - 590	61
591 - 600	62
601 - 613	63
614 - 626	65
627 - 635	66
636 - 642	67
643 - 649	68
650 - 659	69
660 - 671	71
672 - 681	72
682 - 688	73
689 - 696	74
697 - 707	75
708 - 720	77
721 - 726	78
727 - 731	79
732 - 736	80
737 - 745	81
746 - 757	83
758 - 767	84
768 - 774	85
775 - 781	86
782 - 789	87
790 - 798	89
799 - 808	90
809 - 815	91
816 - 824	92
825 - 833	93
834 - 842	95
843 - 849	96
850 - 859	97
860 - 869	98
870 - 880	99

TOEIC Score	TOEFL iBT Score
881 - 896	101
897 - 905	102
906 - 914	103
915 - 926	104
927 - 937	105
938 - 949	107
950 - 960	108
961 - 976	109
977 - 988	110
989 -	111

オンライン口頭試問を受験する際の留意事項

オンライン口頭試問の受験に際し、以下の事項をよく読んで確認すること。

入試当日までに行うこと：

1. オンライン口頭試問の受験に適切な環境（静寂な個室）の確保。
2. 試問に使用する機器類（カメラ、スピーカーマイク、ヘッドセット含む）や通信環境で、安定的に面接を実施できるか事前に確認しておくこと（OS や Zoom アプリの更新、接続状況、音声のやり取り、ビデオ映り等）。
3. 海外からの受験する場合で、上記 1. または 2. の確保が困難な場合は、インターネット出願でその旨申し出ること。

入試当日に行うこと：

1. 受験票を手元に用意しておくこと。
2. 試問実施時間の 15 分前に、受験案内で指定する Zoom リンク先にアクセスすること。
3. Zoom 上の表示名を受験番号と氏名に設定すること。
4. 係員の指示に従い、本人確認ができるよう上半身脱帽正面向きにビデオを映すこと（マスクは着用しないこと）。試問中はカメラから 1 m 程離れ、上半身がビデオに映るようにすること。なお、バーチャル背景は使用しないこと。
5. 係員の指示に従い、試問に使用する Web カメラにて部屋内の周囲を映すこと。
6. 係員の指示に従い、Zoom の画面共有機能を使用し、使用している端末に Zoom 以外のアプリやタブが立ち上がっていないこと。

Zoom 画面共有の使用方法は次を参照のこと。

Zoom ヘルプセンター<https://support.zoom.us/hc/ja> > オーディオとビデオ > 画面共有

7. 係員の指示に従い、試問中は一定の状態ですべてのカメラに映っていること。
8. 受験票、試問に使用する機器類以外は手元に置かないこと。

不正行為等について：

次の行為が確認された際は不正行為とみなすことがある。

- ・ 電話など雑音が入るような環境
- ・ 試問中の第三者の存在
- ・ 試問に関する第三者からの発言や第三者とのやり取り
- ・ 試問の録音・録画
- ・ 試問中の入退室
- ・ 受験票、使用機器類以外が手元に置かれていると推測される行為
- ・ 諮問に使用する機器類を試問通信以外で使用する行為（インターネットでの情報検索等）
- ・ 試問に係る内容の外部漏洩
- ・ その他試験の公正を害する行為（参考資料を読む、故意に通信を中断する等）

当日のトラブル対応について：

- ・ 接続障害の発生等により試問当日の実施が困難な場合は、試験期間中の別日・時間に試問を実施する場合がある。詳細は追って通知する。
- ・ 当日障害等が発生したときは、電話又はメールにて連絡を行う。なお、受験者側で当日障害等が発生したときは、直ちに地球環境学堂教務掛に電話又はメールにて連絡すること。

電話番号： +(81)-75-753-9167

e-mail： 160tikyukankyomu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

告知事項：

- ・ 受験者本人の事由による接続エラー、トラブル等が発生し地球環境学堂教務掛に連絡がなかった場合は不受験とすることがある。

その他、必要な事項は、出願後の受験案内にて行う。

以上